

第5回 山形大学次世代ロボットデザインセンター講演会

(兼 精密工学会東北支部技術講演会)

【日時】 2011年2月9日(水) 15:30~17:00

(講演 1時間, 質疑応答 30分)

【場所】 山形大学工学部 百周年記念会館

山形県米沢市城南4-3-16

【講演題目】 理学療法士から見たヒトの動き

【講師】

小田邦彦 (Kunihiko Oda) 教授

大阪電気通信大学 医療福祉工学部理学療法学科

【概要】

医学的リハビリテーションの専門職である理学療法士は、その業務を「基本的身体能力の回復」と法的に規定されています。そのため、寝返り、起き上がり、立ち上がり、しゃがみこみ、立位保持、歩行など基本的動作の理解が必須となります。これら動作の分析に必要な知識は、解剖学、生理学、運動学などを統合して修得しています。分析結果の解釈は、基本的な力学を交えながらモデル化され、問題点の抽出、対応する治療計画立案につながっていきます。

近年、理学療法士の業務の領域が、医学的リハビリテーションだけでなく、スポーツ・芸術領域へと広がりを見せており、ヒトの動きのスキルの部分までの分析が要求されてくるようになってきました。言語化が難しい動きのコツのようなものを動作分析からどのように解釈していくのかが、その目的のなかに含まれるようになってきました。

今回、工学系の領域で講演させていただくにあたり、これまでの臨床的事例やプロスポーツ選手、クラシックバレエなどの動きの分析を通して、ヒトの動きの分析の面白さをお話しできればと思います。

【問合せ先】 山形大学大学院理工学研究科 テニユアトラック助教 菊池 武士

Tel & Fax: 0238-26-3892

E-mail: t_kikuchi@yz.yamagata-u.ac.jp

主催・共催：本講演は山形大学次世代ロボットデザインセンター、精密工学会東北支部、文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業の支援を受けています。

『社会的知性を備えた卓越した若手研究者育成』プログラム (山形大学)

<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/tenure/>

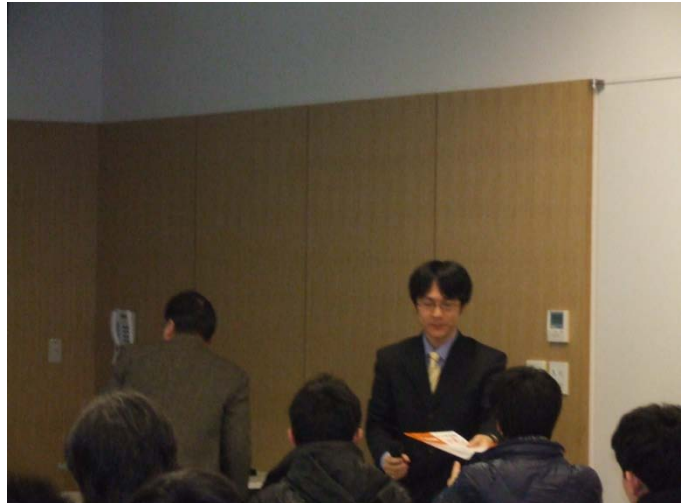
→司会している菊池先生



←会場の様子



→資料配り



<その他>

